

授業科目 中枢神経系評価学II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
佐藤 成登志		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 中枢神経障害の病態を理解し、理学療法を施行するための評価項目を挙げることができる。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 中枢神経系の障害構造を理解できる。 2. 中枢神経障害に対する理学療法評価項目を挙げることができる。 3. 評価項目を理解することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
6	中枢神経系の障害構造について（運動麻痺・筋緊張・共同運動・姿勢反射・その他）			1～3	講義
7	中枢神経系の障害構造について（運動麻痺・筋緊張・共同運動・姿勢反射・その他）			1～3	講義
8	理学療法評価項目（知覚・反射・姿勢反射・協調性・筋トーン・運動機能・脳神経・高次脳・ADLなど）			1～3	講義
9	理学療法評価項目（知覚・反射・姿勢反射・協調性・筋トーン・運動機能・脳神経・高次脳・ADLなど）			1～3	講義
10	理学療法評価項目（知覚・反射・姿勢反射・協調性・筋トーン・運動機能・脳神経・高次脳・ADLなど）			1～3	講義
11	理学療法評価項目（姿勢・動作分析からの思考展開）PBL			1～3	講義、グループ討議
12	理学療法評価項目（姿勢・動作分析からの思考展開）PBL			1～3	講義、グループ討議
13	まとめ			1～3	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし			
参考書		必要に応じて紹介、配布します			
その他の資料					
【評価方法】 期末試験、出席状況などを通して総合的に評価する。			【履修上の留意点】		